



羅針盤 No.22

東港金属株式会社
 東京都大田区京浜島2-20-4
 電話 03-3790-1751
 URL <http://www.tokometal.co.jp>
 (見学受付)
 電話03-3790-1751 又は 各営業担当

平成二十四年一月一日 新しい年が始まりました。
 本年も東港金属株式会社、そして羅針盤を宜しくお願い申し上げます。

メディア紙上では国内景気に停滞感が強まりつつあるとの報道ですが、産業界トップからは、不透明感を打破するための「改革」や「挑戦」を標榜しているとの力強い発言も見られます。国内の産業を活性化させ、動脈産業・静脈産業ともに血液の循環が良くなる年になることを祈願いたします。
 また、大震災の被災地再興への協力も忘れてはならないことで、被災地から離れた地域では「がれき処理」の逼迫感が次第に薄れていきそうな感じさせようとするのは筆者の思い過ごしでしょうか。静脈産業を担う廃棄物処理業界に限らず、それぞれの企業が出来ること協力するという役回りに意義を持って、一日でも早い復興のお手伝いをしてまいります。当社も出来ることなら何でも協力する心構えで門口を開けております。

東港金属株式会社は非鉄・スクラップの買取り、産業廃棄物の処理をお受けいたします。
 身近なリサイクルパートナーとして、お気軽にご相談ください。



鉄・非鉄スクラップ・市況からの1月予測

営業部 Y の考察

☆羅針盤

- 鉄スクラップ** → 考察) 12月は指標になる東京製鉄宇都宮工場が4,000円/トン上げ、最終的には、特級価格が、33,000円/トンになりました。輸出が好調であり、市中からの発生が悪いことが上がった要因でしょう。1月予想は、上げどまりの声も聞こえますので大きな動きはないと思いますが、まだまだ品薄の為、横ばいでしょう。
- 銅** → 考察) 12月は欧州債務危機への警戒感から、最終的には下がりました。LME7,800ドル/トン台、国内銅建値650,000円/トンでスタート、一時は8,000ドル/トンまで上がるかと思いきや、末時点では7500ドル/トン1月は、何とも予想が付きにくいですが、12月同様上げ下げを繰り返し最終的には下がるでしょう。
- アルミ** → 考察) 12月は大きな変化はなく、LME2,080ドル/トンでスタートし、最終的に2,005ドル/トン。まだまだ新塊が安い為、スクラップの需要は上がらないと思われます。1月は横ばいでしょう。
- プラスチック** → 考察) 原油が上がったと思えば下がるなど、大きな変化は見られません。もちろん為替にも左右されますが、数ヶ月前のような買いを控える動きはない為1月も現状と同じく横ばいと思われます。

12月予測の自己評価

鉄スクラップ	○	アルミ	○
銅	×	プラスチック	○



チャレンジ人生

(第5回)

☆羅針盤

自動車リサイクル法

自動車メーカーを含めて自動車のリサイクルに携わる関係者に適正な役割を担っていただくことによって、使用済自動車の積極的なリサイクル・適正処理を行うための法律です。

関係者の役割分担

- (1) 自動車製造業者等⇒自ら又は委託により、使用済自動車から発生するフロン類、エアバック、シュレッターダスト等をリサイクル(フロンは破壊)
- (2) 引取業者 ⇒自動車所有者から使用済自動車を引き取り、リサイクルルートに乗せる入口の役割
- (3) フロン回収業者⇒フロン類を適正に回収し、自動車製造業者等に引き渡す
- (4) 解体業者、破碎業者⇒使用済自動車のリサイクルを適正に行う
- (5) 自動車所有者⇒ 使用済となった自動車を引取業者に引き渡す。また、リサイクル料金を負担する。

自動車リサイクル産業は、主に中古部品の販売、再生資源のリサイクル、貿易などで成り立っています。中古部品や金属回収の観点から価値が高く、国内の自動車解体業者等によって80%程度(重量ベース)がリサイクルされ、残りは主にシュレッターダストと呼ばれる破碎残さとして埋立処分されてきました。

しかし、産業廃棄物の最終処分場の逼迫によるシュレッターダストの処分費の高騰や、鉄スクラップ価格の低迷により、不法投棄も多発し、従来のリサイクル・処理システムがうまく機能しなくなり、収益性の正確な判断が難しく、常にリスクの多い事業となっておりました。そんな中、市況に左右されない安定したリサイクルシステムを構築しなければ、という背景のもとに自動車リサイクル法が制定されました。

現在は、資源価格や為替の乱高下、新車の販売状況や環境税制等の様々な要素を国際的に考慮していかなければなりません。単に人件費や経済性を重視した資源循環を目指すのではなく、自動車リサイクルを通じて地球問題を考えていこうという気運も起きています。

その一つとして2008年より、日中韓の三国が軸となり、各国の自動車リサイクル技術等の協力や資源活用のネットワーク構築を通して、環境に優しい資源の有効活用に資することを目的に「アジア自動車環境フォーラム」が開催されています。

日中韓の研究者や、自動車メーカー、解体業者らが自動車リサイクル政策や技術に関する情報交換を試みる国際会議であり、アジア諸国における自動車リサイクル推進を協議しています。昨年のマレーシアでのこの会議には東港金属株式会社も研修として参加いたしました。(参考文献:環境省資料、環境流通ニュース)

連載が始まって今回が5回目になりますが、弊社のお客様から色々と反響が出てまいりました。この連載を読んでいただいている方々に、少しでも私の事を知っていただき、少しでも多く産廃・スクラップを持込んでくれることを期待して今回は、Wコミックを脱退してからの事を話したいと思います。

Wコミックを脱退した理由は、マンネリ化したコントが嫌になったことが最大の原因でした。当時は、テレビのレギュラーとラジオのレギュラーを持ち、其れなりに生活も安定していました。ただ、面白くなくなっていました。他に何かあるのでは?と思い始めたからです。そんな時、声を掛けてくれたのが当時ダチョウ倶楽部にいた南部さんでした。南部さんとは、以前私が所属していた太田プロの時から知り合いです。私としては尊敬していました。その南部さんから声を掛けていただき、一緒にコントをするようになりました。

最初は、2人でスタートし、1人、2人と増え5人になりました。その当時、目指していたお笑いは、音楽を主体としたお笑いでした。グループ名を電撃ネットワークと命名しました。このグループ名は、南部さんが付けました。私は、舞台上で火を吹き始めました。活動はライブを中心としていたため、お金にはなりません。既に結婚し、子供もいましたので、生活苦に陥り、結婚式の司会で食いつないでいました。

電撃ネットワークのメンバーは、南部さんと私以外はアルバイト。ニュースで応募してきた人や、エキストラをしていた人が加わりました。もちろん現在の電撃ネットワークには南部さん以外残っていません。この電撃ネットワークには、1年間だけ在籍しました。

その1年間の中で唯一テレビ出演したのが、「世界不思議発見」でした。番組の内容は、みなさん御存知かと思いますが、世界中の変わった風習を数人の回答者がクイズに答える番組です。私と南部さんの2人だけがこの番組に出演しました。

内容は、「黒船、海を渡る」でした。幕末にアメリカを訪れた武士がアメリカの風習に驚く姿を質問にしました。私と南部さんは、紋付袴でちょんまげをしそのまま飛行機にのりワシントン、ダラス、サンフランシスコをロケで回りました。当然、周りのアメリカ人は、「オーちゃんまげ」と騒ぎました。このロケには、10日間費やしました。

この仕事の終了とともに、電撃ネットワークを脱退しました。一緒に活動していた南部さんは、非常に頭が良く、奇抜な発想の持ち主ですが、非常識な面を多分に持ち合わせた人でした。南部さんと上手くゆかなくなったのが脱退の原因ではなく、生活苦が耐えられなくなったことが最大の原因でした。脱退する少し前から、私は、歌謡ショーの司会の仕事を頂くようになり、そちらの安定性を取ってしまっただけでした。

今となれば、以前横山やすし師匠から「何故、我慢が出来ないのか」と怒鳴られたことを、何故、忘れてしまったのかと後悔しています。(つづく)